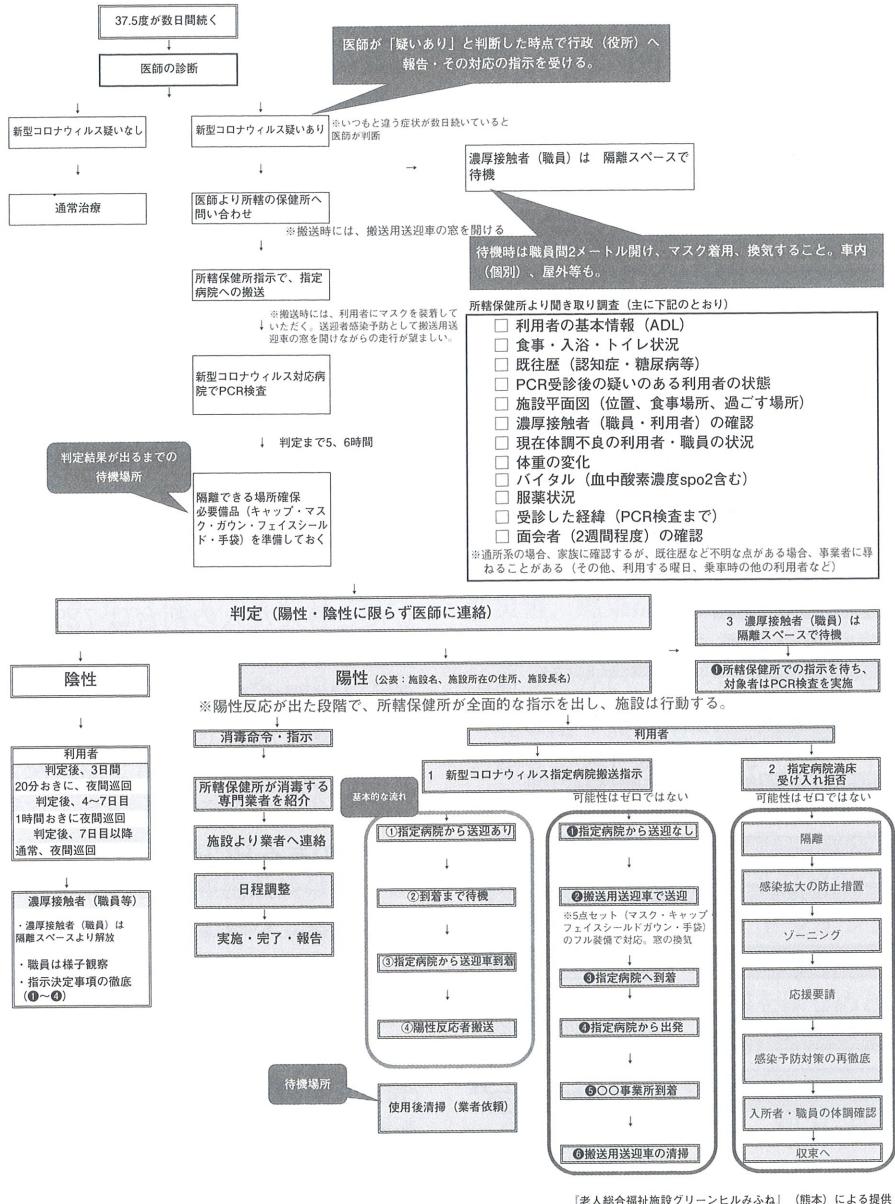


図表3 新型コロナウィルス対応のフローチャート（利用者版）



者との情報共有と役割分担、判断ができる体制の構築

- ② 感染（疑い）者が発生した場合の対応
 - ③ 職員確保
 - ④ 業務の優先順位の整理
 - ⑤ 計画を実行できるよう普段からの周知・研修、訓練

上記の④については、限られた職員でサービス提供を継続する必要があることも想定されます。優

先順位の整理について、吉本施設長は「やること」ではなく、「やらないこと」を明確にすることがポイントだといいます。

⑤では研修や訓練について書かれてますが、福祉の現場で働く職員の中には苦手意識をもつ人もいるようです。

「難しい問題だからこそ、誰にでもわかりやすく」との思いから、寺西貞昭さんは2013年に『KIZUKI～災害想定ゲーム～』を開発しま

した。ゲームのプレイヤーは、利用者への安全確保、環境整備、来訪者への適切な対応などを楽しみながら学び、備えの必要性、スピーディーな初動の重要性に気づくことができます。研修や訓練に苦手意識がある職員がいる場合はこのようなツールを活用することも一案です。楽しみながらイメージ力を養うことができることに加え、職員同士の団結力が高まるという相乗効果も期待できそうです。

厚生労働省のガイドラインでは新型コロナウイルス感染症発生時において介護サービス事業者に求められる役割として①サービスの継続②利用者の安全確保③職員の安全確保を挙げています。

福祉サービスを提供する事業所がWithコロナ時代を生き抜くためには「実効性のある新型コロナウイルス感染症BCPを策定している」という課題をクリアすることがカギになるのではないかでしょうか。

<参考資料>

- ・厚生労働省老健局『介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン』(2020年12月)
 - ・総務省総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政第二課『新型コロナウイルス感染症に関する情報流通調査』(2020年6月)

1

NPO法人「高齢者住まいる研究会」主催
の学習交流会の問い合わせ先
kousumaken@gmail.com